

令和4年度 第1回 下水道における水系水質リスク検討会

議事要旨

1. 日 時 : 令和4年7月20日(水) 10:00~12:00
2. 場 所 : 国土交通省 中央合同庁舎2号館 第2会議室A・B、WEB 併用
3. 概 要

■放流水の水質の技術上の基準における大腸菌数の検討について

- 合流式下水道の場合、雨天時の水質悪化等の課題もあり、慎重な検討が必要。
- 改正内容によっては、自治体の人材や技術職員の不足への配慮、予算の確保等も踏まえた改正スケジュールの検討や、施行時における支援が必要となる。
- 海域に不足している窒素などの栄養分を補給して水産資源の豊富な海にする対応として栄養塩管理運転を率先して行っている自治体では塩素消費量増大の問題もあり、一律の上限規制ではなく、基準に対して何らかの幅を持たせるといった考え方もあり得る。
- 運転方法を考慮した基準のあり方を検討するには、消毒に限らず、自治体が抱える様々な負荷に対する総合的な解決に向けた検討が必要。本検討会としてどのように対応すべきか考えていただきたい。
- 現行の大腸菌群数の基準と同等の数値基準であれば、処理場も対応可能であり妥当な数値だと考える。
- 今回の変更は、大腸菌数へと基準が置き換わることで、より妥当な管理が期待され、水質の水系リスク管理が向上するという観点では前向きに捉えられる。

以上